

会議プログラム

【会議の概要】

VASCULITIS CLINICAL INVESTIGATORS MEETING

**THE VASCULITIS CLINICAL RESEARCH CONSORTIUM (VCRC) &
THE EUROPEAN VASCULITIS STUDY GROUP (EUVAS)**

Sunday November 7, 2010: 1:00 PM - 5:00 PM

Philadelphia, PA, USA

CHAIRS: PETER MERKEL, DAVID JAYNE

- I. Welcome, Introductions**
- II. EULAR-ACR Diagnostic & Classification Criteria for Vasculitis (DCVAS) R. Luqmani & P. Merkel**
- A. Brief summary of project
 - B. Review of status of project, logistics for participating sties
 - C. Review of case report forms
 - D. General discussion
- III. Updates on Currently Enrolling International Trials**
- A. VCRC Trials
 - Trial of abatacept in WG (VCRC) Carol Langford
 - AGATA: RCT of abatacept for LVV (VCRC) Carol Langford
 - B. EUVAS Trials
 - REMAIN (EUVAS) David Jayne
 - MYCYC (EUVAS) David Jayne
 - C. VCRC-EUVAS Combined Trials
 - PEXIVAS Plasma exchange for AAV P. Merkel & D. Jayne
 - D. FVSG Trials Alfred Mahr
 - E. Clinical trials in Behçet's disease Yusuf Yazici
- IV. International Trials/Studies in Advanced Planning Stages**
- A. VCRC Reproductive Health Questionnaire and Pregnancy Registry Megan Clowse
 - B. Ultrasound vs. biopsy for diagnosis of giant cell arteritis Raashid Luqmani
 - C. Leflunomide for giant cell arteritis Bhaskar Dasgupta
 - D. Gusperimus for ANCA-associated vasculitis David Jayne
- V. Brief Updates on Ongoing VCRC and EUVAS Ancillary/Parallel studies**
- A. Genetics projects, specimen repositories, and biomarker studies P. Merkel, D. Jayne
 - B. Long-term outcome studies D. Jayne, Philip Seo
- VI. Update on Studies of Outcomes Assessment and the OMERACT Vasculitis Working Group**
- A. Current status of OMERACT initiative in vasculitis Peter Merkel
 - B. OMERACT projects for large vessel vasculitis Haner Direskeneli
- VII. Proposed New Studies**
- A. Rituximab for maintenance of ANCA-associated vasculitis Rona Smith & David Jayne
- VIII. Open group discussion of state of international vasculitis clinical trials and new ideas for multicenter international studies**

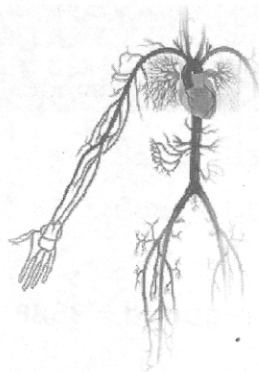
IX. Close

1. Luqmani と Merkel から DCVAS project の説明
ACR と EULAR の協調体制
2. 現在進行中の国際臨床試験の紹介
abatacept, REMAIN, MYCYC, PEXIVAS, Bechet

3. 現在計画中の国際臨床試験

Gusperimus for ANCA, Leflunomide for GCA など

<http://www.vasculitis.org/>



DCVAS

Diagnostic and Classification Criteria
for Systemic Vasculitis

STUDY OVERVIEW



・参加国

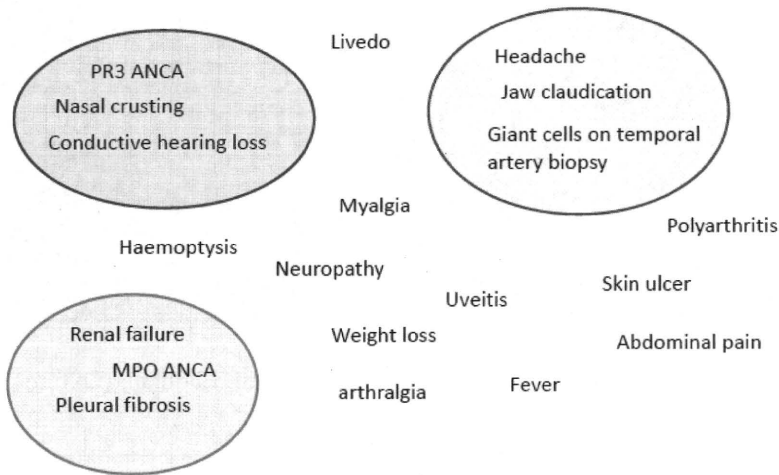
・議長 : Prof. Luqmani (Oxford)

Numbers required

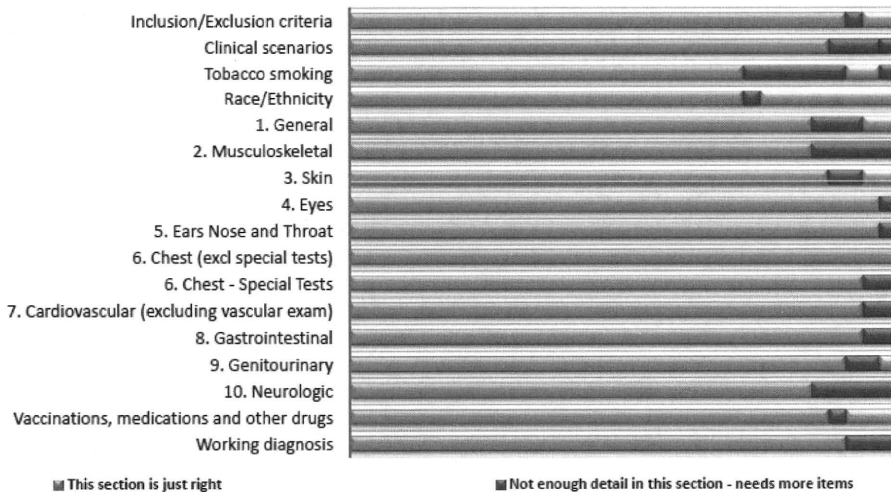
- ❖ Cases of vasculitis required = 2028
- ❖ Vasculitis mimics / controls = 1560

- ❖ Estimated total patients required = 3588

Reference diagnosis / gold standard



Feasibility and content of the following sections in the CRF



補足：インドも GCA の臨床試験を立ち上げるなどアジア勢も参画してきている。また、国際臨床試験を主導するにはスポンサーの関与が大きい。

2. 国内プライマリーケアフォーラム：血管炎の国際情報普及フォーラム

第二回、会場：広島市民病院講堂にて開催した(資料2)

日時：平成22年10月7日(木) 18:00～20:00、広島市民病院 講堂
プログラム(資料—2)

・第3回(東京)：次年度に予定する。

3. 国際会議の状況と予定

(1) 15th ANCA work shop and Vasculitis Meeting

2011年5月15日-18日：米国 Chapel Hill

(2) Asia Pacific ANCA workshop and Vasculitis Meeting, 2012 の準備

第1回 実行委員会 1月31日(有村委員長、千代田区)

第1回 プログラム委員会 5月15日(石津委員長、横浜)

EUVAS 会議(Parma)にて AP-VAS, 2012 のリーフレットをプリントして受付に配布した。

第2回 実行委員会 平成22年7月2日(金) 12:05～12:55

会場：都市センターホテル

第3回 実行委員会(予定)

開催日：平成22年12月18日(土曜日) 12:05～13:00

会場：都市センターホテル 601 会議室

第2回 プログラム委員会(予定)

平成22年12月18日(土曜日) 13:45～15:00

会場：都市センターホテル 601 会議室

別紙様式第1

疫学研究 ヒトゲノム・遺伝子解析研究 臨床研究等
倫 理 審 査 申 請 書

申請日：平成 年 月 日

受付番号： 370

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科長 殿

下記のとおり申請します。

研究責任者：所属 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科
病態制御科学専攻病態機構学講座

職名 教授

氏名 横野 博史

印

委員会報告者：所属 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科
病態制御科学専攻病態機構学講座

職名 助教

氏名 佐田 憲映

印

1. 研究課題名

欧州リウマチ学会/米国リウマチ学会主導による原発性全身性血管炎の分類・診断基準作成のための研究

■実施計画

岡山大学単独での研究

岡山大学を主管校とする多施設共同研究（全施設名を列挙又はリストを添付）別紙1

他施設を主管校とする多施設共同研究（全施設名を列挙又はリストを添付）

出版公表原稿

資料—1 (その2)

日本の登録予定施設 (2009年8月:英国事務局に提出)

【研究組織】(敬称略)

統括責任者: 榎野博史

検証研究日本事務局: 鈴木和男

難治性血管炎班国際研究協力分科会メンバー (藤元・小林・平橋)

難治性血管炎班中小型血管炎分科会 (有村・高崎・天野)

ANCA 関連血管炎臨床研究班 (尾崎・山田・渥美)

進行性腎障害 RPGN 分科会 (山縣)

【研究参加施設】(敬称略)

倫理委員会申請中あるいは承認 (○): 2010年12月1日現在

	研究責任医師	所 属	診療科	倫理委員会 承認(○)
1	榎野 博史	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科	腎・免疫・内分泌代謝内科学	○
2	有村 義宏	杏林大学医学部	第一内科	
3	高崎 芳成	順天堂大学医学部	膠原病内科学講座	
4	藤元 昭一	宮崎大学医学部附属病院	血液浄化療法部	○
5	天野 宏一	埼玉医科大学総合医療センター	リウマチ・膠原病内科	
6	尾崎 承一 山田 秀裕	聖マリアンナ医科大学	リウマチ・膠原病・アレルギー内科学	
7	渥美 達也	北海道大学医学部	免疫・代謝内科学	
8	山縣 邦弘	筑波大学大学院人間総合科学研究科	疾患制御医学専攻腎臓病態医学分野	
9	和田 隆志	金沢大学大学院医学系研究科	血液情報統御学	
10	土橋 浩章	香川大学医学部	内分泌代謝・血液・免疫・呼吸器内科	
11	武曾 恵理	財団法人田附興風会医学研究所 北野病院	腎臓内科	
12	平橋 淳一	東京大学医学部附属病院	腎臓内分泌内科	○

13	小林 茂人	順天堂大学越谷病院	内科	○
14	中島 裕史	千葉大学医学部	アレルギー・膠原病内科	○
15	湯村 和子	自治医科大学	腎臓内科	

資料一 2

第2回 血管炎の国際情報普及フォーラム

主催「厚労省難治性疾患克服研究事業：難治性血管炎に関する調査研究班」

国際研究交流分科会 フォーラム世話人：湯村和子（自治医科大学）

下の日程でフォーラムを開催いたします。多くの先生方の御参加をお願い致します。

『プライマリーケア医が 血管炎を見つける！』

日時：平成22年10月7日（木）

18：00～20：00

会場：広島市民病院 講堂

参加費無料

プログラム

開会にあたって：榎野博史（厚労省難治性疾患克服研究事業難治性血管炎に関する
調査研究班長、岡山大院医・腎臓-免疫-内分泌-代謝）
「難治性血管炎の調査研究の現状」

1. 新分類の概要と問題点：藤元昭一（宮崎大・医・血液浄化療法部）
2. 血管炎国際会議の基礎と臨床の話題：猪原登志子（京大病院・北野病院）
3. ANCA関連血管炎の多彩な病態：湯村和子（自治医大・腎臓内科）
4. 小児血管炎：川崎病調査：岡崎富男（呉共済病院）
5. まとめ：鈴木和男（同班国際研究交流分科会長・千葉大院医・免疫発生炎症制御）

平成 22 年度

難治性血管炎に関する調査研究班

進行性腎障害に関する調査研究班

ANCA関連血管炎のわが国における

治療法の確立のための多施設共同前向き臨床研究班

3 班合同会議

プ ロ グ ラ ム

日時：平成 22 年 12 月 18 日（土）10:00～12:00

場所： 都市センターホテル 6 階「601 会議室」

東京都千代田区平河町 2-4-1

TEL：03-3265-8211

FAX：03-3262-1705

3 班合同会議

プログラム

平成 22 年 12 月 18 日 (土)

1. 厚生労働省より基調講演

10 : 00～10 : 05

中川義章 (厚生労働省健康局疾病対策課)

2. 3 班合同ガイドライン解説

10 : 05～10 : 30

尾崎承一 (聖マリアンナ医科大学)

3. 3 班所属研究者からの意見聴取・討議

10 : 30～11 : 00

槇野博史 (岡山大学)

4. 関連学会からの意見紹介

11 : 00～11 : 15

山縣邦弘 (筑波大学)

5. 学会からの意見に関する討議

11 : 15～11 : 45

槇野博史 (岡山大学)

6. 最終調整

11 : 45～12 : 00

尾崎承一 (聖マリアンナ医科大学)

松尾清一 (名古屋大学)

槇野博史 (岡山大学)

厚生労働科学研究費補助金
難治性疾患克服研究事業
難治性血管炎に関する調査研究
平成 22 年度 総括・分担研究報告書

発行 平成 23 年 3 月 1 日

厚生労働省難治性疾患克服研究事業
難治性血管炎に関する調査研究班
研究代表者 槇野博史

岡山大学大学医歯薬学総合研究科 腎・免疫・内分泌代謝内科学
岡山県岡山市北区鹿田町 2-5-1
TEL : 086-235-7235 FAX : 086-222-5214

印刷 株式会社中野コロタイプ
岡山市北区玉柏 390

